

平成29年度事務事業進行管理表(自治振興センター用)
(環境ISO管理)

事務事業名	一般事務及び施設管理業務
センター名	上村自治振興センター

1 環境側面及びそれに伴う環境影響

通常時	非通常時	緊急事態	環境側面	影響評価						著しい環境側面
				1	2	3	4	5	6	
○			紙の消費	×	×	×	×	×	—	
○			電気の消費	×	—	×	—	×	—	
○			水の消費	×	—	—	—	×	—	
○			施設の緑化	—	—	○	○	—	○	
		○	建物火災	×	×	—	—	—	—	
		○	灯油流出	×	—	—	×	—	×	
	○		フロンの漏えい	×	—	×	—	—	×	
	○		公用車の廃棄	×	×	—	—	×	×	

【作成上の注意】

- 「通常時」は通常の業務・作業の条件下で発生する可能性が大きい場合、「非通常時」は業務・作業の開始・終了時、停止時、故障時などの条件下で発生する可能性が大きい場合をいいます。
- 「環境側面」は、環境と相互に作用する、又は相互に作用する可能性のある組織の活動又は製品又はサービスの要素です。
- 影響評価は、1：典型7公害(大気、水質、土壌、騒音、振動、地盤沈下、悪臭)、2：廃棄物発生/抑制、3：地球温暖化の進行/抑制、4：自然の破壊/保全(緑地、生物多様性、水辺)、5：資源の枯渇/保全、6：その他(有害物質、景観)の分類ごとに実施します。
- 評価基準は、分類ごとに、環境側面が与える環境影響について、影響範囲、発生頻度、影響の重大性(最悪を想定)を考慮して判断します。
- 影響評価の結果の表示は、良い影響大：○○、良い影響小：○、影響なし：—、悪い影響小：×、悪い影響大：××と表記します。
- 影響評価の内容により、課長が著しい環境影響があると判断した場合は、「著しい環境側面」とし、○を入力します。

2 環境側面に伴う順守義務

法令、例規、利害関係者のニーズと期待のうち順守すると決定したもの	要求事項	順守評価	
		中間	年間
廃棄物の保管	廃棄物保管の表示、分別の徹底、飛散・流出・浸透・悪臭防止の措置	○	○
消防法に関する施設管理	防火管理者の選任	○	○
消防法に関する施設管理	消防用設備の点検(1回/年)及び結果報告	—	○
消防法に関する施設管理	避難訓練計画の届出及び訓練の実施(1回/年)	○	—
浄化槽法	保守点検及び清掃(1回/年)・指定検査機関による水質検査(1回/年)	○	○
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化	第一種特定製品の適正管理と点検等の実施	—	—
灯油タンク等の管理	貯蔵、取り扱い、届出、自主点検の実施(南信州広域連合火災予防条例)	○	○
使用済み自動車の再資源化	リサイクル券の適正な保管及び廃棄時の適正な処理の実施	—	—
家電類の廃棄	家電リサイクル法に応じた廃棄時の適正な処置の実施	—	—

- 順守評価が必要なものについて記載します。
- 組織の状況等の検討表の「2 利害関係者のニーズと期待」において「うち、順守義務とするもの」と決定したものを転記します。
- 順守評価結果は、良：○、否：×、期間中に要求事項に該当する内容なし：—で表示します。

3 リスクと機会(上記1及び2に関係するもの)

リスク (マイナス要素)	紙・電気等の消費、産業廃棄物の排出、汚水の流出、火災の発生、軽油の流出、フロン類の漏出
機会 (プラス要素)	グリーン商品の購入、施設の緑化

4 環境目標

番号	区分	環境目標 ①実施事項(何を) ②達成期限(いつまでに) ③結果の評価方法(どのような水準に)	年間スケジュール 環境目標達成のための 手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
				進捗状況・成果 (監視・測定・分析・評価)	達成 状況	進捗状況・成果 (監視・測定・分析・評価)	達成 状況
1	①	紙の消費量の抑制	両面印刷、裏紙利用の推進 と会議資料の簡略化による 紙の削減に努める。 半期ごとに検証する。	両面印刷、裏紙使用 が定着してきていま す。 引き続き紙の削減に 努める。	100%	使用する裏紙が不足 する程定着してきて いる。 引き続き努める。	###
	②	年間を通じて					
	③	対前年比3%減を目指す					
2	①	施設の緑化	庁舎周辺等花壇及びプラン ターを利用し緑化に努める。 夏季はグリーンカーテンを設 置する。	庁舎周辺花壇の緑化 を実施し、ミニトマト、 向日葵を植栽した。 西日の当たる窓はブラ インドを活用した。	100%	春のためにチュー リップの球根を植栽。	###
	②	年間を通じて					
	③	明るい環境づくりを目指す					
3	①						
	②						
	③						

4 環境目標

番号	区分	環境目標 ①実施事項(何を) ②達成期限(いつまでに) ③結果の評価方法(どのような水準に)	年間スケジュール	中間評価		年間評価	
			環境目標達成のための 手段・方法・手順	進捗状況・成果 (監視・測定・分析・評価)	達成 状況	進捗状況・成果 (監視・測定・分析・評価)	達成 状況
1	①	小水力発電の推進	経営会議の開催(3回/月) 先進地視察(随時) 各種許可の申請に向けた関係機関等の協議 設計会社の選定 水車発電機の選定	経営会議 7回開催 先進地視察 2ヶ所 利水者及び流域住民懇談会開催 許認可等事前協議の実施	90%	経営会議 7回 取締役会 2回 詳細設計の発注 接続契約申込 許認可等に事前協議の実施 市再エネ事業認定	###
	②	年間を通じて					
	③	許認可申請・詳細設計の発注を目指す					
2	①	アマゴの稚魚放流	保育園児、小学生への環境学習の一環として、上村川へアマゴの稚魚放流を実施し、河川環境の保全に努める。	11月実施	0%	アマゴ稚魚放流 11/22	###
	②	11月末までに					
	③	500匹放流する					
3	①	緑化木の植栽	遊休農地を利用した、花や花木を植栽し、景観保全に努める。 休耕田を利用しひまわり迷路を作り自然環境学習を実施。 ひまわりの種は精油にする	休耕田にひまわり・大豆を播種 遊休地にひまわりを播種 ハナモモの苗木を地区内に植栽	80%	ひまわりの種を地区の文化祭で地区住民に配布し地区全体での取組みになるよう呼びかけた	###
	②	11月末まで					
	③	遊休農地の					